

2023-24年度 朝岡会長テーマ -みんな 楽しく 仲良く そして未来へ-
 第 3137 回例会 令和 6 年 3 月 26 日(火) 天気:雨 No.29

2023-24年度
 RIテーマ



会長 / 朝岡 正 幹事 / 松田茂治
 クラブ会報委員 金原健志 / 本田正則 / 大内基浩 / 宍戸秀隆
 例会日:火曜日 12:30 例会場:西尾コンベンションホール
 事務局:西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204
 TEL: 0563-54-7770 FAX: 0563-54-7050 URL:https://www.nishio-rotary.org

【本日のプログラム】

司 会 杉田武男例会運営委員長
 斉 唱 「我等の生業」 食 事 こばやし屋
 スピーカー 西尾岩瀬文庫 文庫長 林 知左子氏 「吉良上野介の“幻”書状」
 ビジター 米沢上杉RC 会長 加藤富士雄 君 / 幹事 金丸まゆ 君 / 会長エレクト 前山健二 君
 パスト会長・次年度ガバナー補佐 五十嵐正明 君 / パスト会長・60周年実行委員長 徳重和浩 君
 パスト会長・世界親睦姉妹クラブ委員 太田政住 君 / パスト会長・ローターアクト委員長 依田聡 君
 職業相談指導委員長 小田切正裕 君 / 世界親睦姉妹クラブ委員 小関利英 君
 職業分類会員選考委員長 情野養一 君 / 社会奉仕・親睦委員 高野俊博 君
 社会奉仕・親睦委員 吉田耕一 君



【会長挨拶】



鳥居会長の時にいただいたこの服を今日は着させていただきます。2013年にロータリーの要領がロータリーの目的に変更されました。「1.知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。2.職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。3.ロータリアン1人1人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。4.奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。」目的では色々に変更されており、本当に柔軟になっています。2016年に柔軟性、例外規定と言われる大きな変更がありました。

2019年には、ロータリアンの行動規範が4項目から5項目に変更されました。「1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。5. ロータリーの会合、行事、活動においてハラスメントのない環境を維持し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないようにする。」

2021年にはDEIの行動規範が採択されています。他者を尊重する言葉を使う、サポートを示す、温かく迎える、インクルーシブな環境を助長する、多様性を重んじる、という内容です。我々は、ロータリーの目的や行動規範を認識して活動しなければならないと思っています。ロータリアンとして、これらを守りながら、楽しく仲良くやっていきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

【委員会報告】

〈出席委員会〉本多 淳委員長

本日の出席数 58名
 欠席数 11名
 出席率 84.06%

〈スマイルボックス委員会〉谷崎直樹委員長

朝岡 正君 西尾岩瀬文庫長 林様、吉良上野介の幻の書状 楽しみにしています。

松田茂治君 林知左子様ようこそ西尾RCへ。本日は米沢より来訪されています。宜しくお願い致します。

榊原康正君 林知左子さん卓話楽しみにしています。

杉浦義浩君 西尾岩瀬文庫長 林知左子様、本日は卓話を大変楽しみにしています。宜しくお願い致します。

米沢上杉RC 会長 加藤富士雄 君



昨年の5月に開催した創立60周年記念の様々な事業に、西尾RCからたくさんの同志が駆けつけ、お祝いを頂戴しました。ありがとうございます。昨日は突然の訪問にも関わらず、有志の方々と一献を交えることができました。本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。



岩瀬淳治君 西尾岩瀬文庫長 林様、本日はお忙しいところ有難うございます。

尾崎隆爾君 ようこそ西尾岩瀬文庫長 林様、卓話楽しみにしております。

三浦康彦君 上杉RCのみなさまようこそ。

文庫長 林知左子さん卓話楽しみです。

米沢上杉RC加藤富士雄君 大勢で押しかけてすみません。大変楽しかったです。

米沢上杉RC金丸まゆ君 昨日から共に楽しいお時間を過ごす事が出来ました。今後とも友好を深められる事を嬉しく思います。宜しくお願い致します。

米沢上杉RC五十嵐正明君 西尾RCの皆さん当クラブの60周年に大勢でお越し下さり有難うございました。これからも末永く宜しくお願いします。

米沢上杉RC小田切正裕君 今回2度目の訪問です。ぜひ冬の米沢へもお越し頂き雪灯籠祭りをお楽しみ下さい。

米沢上杉RC有志一同 残り物みたいで、すみません。

朝岡 正君 米沢上杉RC加藤会長をはじめとして皆さんようこそ西尾RCへ。短い時間ですが宜しくお願い致します。

浅岡直幸君 昨日は名古屋での懇親会の後、電車のトラブル！哲朗さんの機転のお陰で無事に自宅に到着。有難うございました。

鳥居慶輔君 米沢上杉RCの皆様西尾RCの例会に参加して頂き誠にありがとうございます。本日は宜しくお願いします。

榊原茂太郎君 米沢上杉RCの皆様、西尾へ来ていただき有難うございます。感謝。

榊原康正君 米沢RCの皆様ようこそ。

天野 卓君 ようこそ米沢上杉RCの皆様。

小澤育史君 米沢上杉RCの皆様ようこそ西尾へ！！これからもよろしく願います。

黒田正志君 米沢RCの皆様本日はようこそ西尾RCへ。宜しくお願いします。

田中正規君 米沢上杉RCの皆様、西尾にようこそ。歓迎します。

加藤典男君 米沢RCの皆様ようこそ西尾へ。昨夜は美味しい日本酒ありがとうございました。

鳥山欽示君 米沢RCの皆様ようこそ西尾クラブ例会へ。当クラブ65周年、貴クラブ60周年ではお世話になりました。

松田茂治君 米沢上杉の皆様、ようこそ西尾RCへ。昨日は有難うございました。

柴田高広君 米沢上杉RCの皆様、ようこそ西尾へ。大々大歓迎です。

小笠原正秀君 3/24の結婚記念日にきれいなお花を頂きました。娘夫婦も当日新婚旅行から帰国して、みんなで40周年を祝う事が出来ました。有難うございました。

永田恵一君 4/1発令で埼玉の大宮へ異動となりました。1.5年の短い期間でしたが大変勉強になり楽しく過ごさせて頂きました。本当にお世話になり有難うございました。

杉田明弘君 先日の会長杯ゴルフではスコアーよりも大笑いの良きメンバーに恵まれて楽しい一日を過ごしました。

三宅千鶴君 先日の会長杯では伊藤さん、永田さん、傍嶋さんとまわらせて頂き、素敵なメンバーのお陰でドラコン賞を2つ頂く事が出来ました。有難うございます。

遠山順子君 朝岡会長杯ゴルフに参加させて頂き有難うございます。ドラコン2つとブービーを頂きました。嬉しかったです！

平岩博行君 第3回朝岡会長杯ゴルフコンペで繰り上げ優勝させて頂きました。傍嶋さんありがとうございました。長女が来週から新社会人になります。少し親の役目が果たせたように思います。

傍嶋 茂君 第3回朝岡杯ゴルフコンペ、メンバーに恵まれ好成績を上げる事が出来ました。次回も頑張ります。

松田茂治君 小雨の中、第3回会長杯にご参加いただき有難うございます。

朝岡 正君 第3回会長杯ゴルフコンペに30名参加して頂き誠に有難うございました。雨の中で大変でしたが表彰式は大いに盛り上がりました。

【卓話】

西尾岩瀬文庫 文庫長 林 知左子 氏 「吉良上野介の“幻の”書状」



今回紹介する手紙は、1673年9月25日付の吉良上野介義央公の自筆の書状です。幕府の高家の仕事で京都に公務滞在中に、その出張先の京都から江戸にいる長女の鶴姫に宛てて送った手紙です。こちらは義央公の人となりを示す資料として昔から必ず引用されてきた超有名な手紙です。ただ、長らく本物がどこにあるか分からず、手紙部分の写真だけが引用されており、現物を見たことがある人がいないという意味で幻の書状でした。令和2年の春に古美術市場にこの資料が出て、業界が騒然としました。今は岩瀬文庫の収蔵庫で大事に保管してあります。字を見ると、高い教養と豊かな知識を備えた人ならではの筆跡で、当時13歳の鶴姫にも読みやすいように話し言葉のような平易な言葉遣いで書かれているところも極めて珍しいものです。この手紙は、弱冠13歳ながら島津綱貴に嫁ぐために上杉家の養女として上屋敷へ移っていた鶴姫に宛てて、京都の出張先から送った手紙です。33歳のお父さんが13歳の娘に宛てて送った手紙ですが、繰り返す「元気にしていますか」「みんなが元気でいてくれることが嬉しい」ということが書かれており、家族のことを本当に思っていることが分かります。娘への愛に満ちた手紙です。私の注目ポイントは「この手紙と一緒に京都の土産を送りました」と書かれているところです。思春期の娘に、今で言う「化粧ポーチ」と「フレグランス」といったおしゃれグッズを京都の御所の方で流行っていると聞いて送ったようです。さらに鶴姫の妹で当時5歳の阿久利姫にも人形を3つ「届けてあげてね」と送っています。養女に行った鶴姫に実家へ帰る口実を作ったのではないかと想像でき、細やかな心遣いと子煩悩な印象が手紙から読み取れます。今回ご覧いただいた書状から、義央公が繰り返す家族や子供を気遣う言葉が見え隠れしましたが、彼らの生きたプロフィールなどを見ても、非常に親密な家族関係にあったということが伝わります。忠臣蔵事件が有名で、殺されて当然の悪人として扱われることが多い義央公ですが、その血の悪評に反して、細やかな心遣いのできる優しい父親としての姿が浮かんでくると思います。この手紙が義央公の実像について考えるきっかけになると思い紹介しました。岩瀬文庫の収蔵庫にしまっているため、原本を見たい、手に取ってみたいと思われる方は、いつでもご覧いただけますので、ぜひ岩瀬文庫へお越しください。

